

6/1～6/18

社会福祉法人 宏量福祉会 母子生活支援施設 野菊荘 川北愛久里

日付	時間	活動内容 & 場所
6月1-11日 (月-木)		コペンハーゲン→スカナボー移動 Landsbyen Sølund 見学、活動参加
6月12-15日 (金-日)		スカナボー→ケーエ移動 ホストファミリーさん宅滞在
6月15日 (月)		Ung krisecenter 訪問
6月16日 (火)		Hillerød Kvindekrisecenter 訪問
6月17-18日 (水-木)		コペンハーゲン→フランクフルト→羽田 日本帰国。研修終了

Landsbyen Sølund



今週はデンマークの北、コペンハーゲンから電車で3時間ほど離れたスカナボー（Skanderborg）にある居住型障がい者施設 Landsbyen Sølund へ見学、会議や実習生の説明会同席、利用者さんとの関わりや活動へ参加させていただきました。

1935年に設立された長く歴史のある、とても大きな施設で、約250名の入居者がユニットに分かれて暮らしておられ、居住だけでなくアクティビティセンター（活動場所）、プール、乗馬施設、大きな

森林があり、鹿やヤギが生息して、色んな過ごし方が出来るように図られていました。驚いたのは、入居者・利用者の暮らしや活動を支えるため、約900名のスタッフがおられることです。またボランティア、インターンの学生等も多く来られるとのことでした。学習センターもあり、

スタッフの研修、インターンシッププログラムはもちろん、入居者の方へも学習を提供するために行われているそうです。デンマークでの歴史的な背景として、障がい者理解が第二次世界大戦時期に変化し、社会全体で支える思いがあり、利用者の4倍近く支援者があるように図っていると伝えられ、安定した支えが根付いているのだと感じました。

この一週間の中で、スタッフの方からお話を聞き、利用者さんとの関わりをそばで見たり、関わらせて貰ったり、会議や実習生へ向けた学習説明を聞いて感じたのは、支援の深さです。研修での専門的な知識と長くたくさんの経験に基づいて関わり、その知識を学生さん、ボランティアの受け入れ、自治体との協力等、広く繋がり深め続けておられ、多くの方が関わることで、利用者さんの安定、スタッフの方も安定して関わって、素敵な時間を何度も感じました。

次の週も Landsbyen Sølund にて、最大の音楽イベント Sølund Music Festival が開催される日に参加させてもらえることが出来たため、活動を通して感じたこと、考えたことを大切に、学び活かしていきたいです。

Ung krisecenter



コペンハーゲン市内の Ung krisecenter は、18 歳～29 歳までの若年女性を対象としたシェルターとして 2022 年に設立され、私が勤務するシェルターと同様の支援現場として、その支援実践を学ばせていただきました。設立者である Piaさんは、それ以前に他のシェルターに勤めておられましたが、支援する中で、若年女性に特化した支援の必要性を感じ、設立されたと聞きました。シェルターは、DV の危険から避難し、次の生活場所を見つ

けるまでの安全と安心を感じられる居場所として、防犯システムや生活備品の充実、穏やかに人と関われる空間づくりがなされていました。何よりも、若年女性に特化することで、安全性と両立して、門限がゆるやかに設定されていたり、家事や就労に向けたサポートがあったりと、過度に管理されていると感じないよう、寄り添った支援が実践されていると感じました。訪問から、安心できる環境の提供と自立に向けた支援の両立の重要性を学ぶことが出来ました。

Hillerød Kvindekrisecenter

同じくコペンハーゲン市内の Hillerød Kvindekrisecenter では、親しい関係にある人から DV 被害を受けた女性とこどもを対象としたシェルターで、訪問にて支援体制について学ばせていただきました。安全な環境整備はもちろんのこと、利用者の心理的ケアや、DV 被害から避難した人の強みを探り、エンパワメントする関わりを大切にされていたことが印象的でした。また、利用者同士の交流活動やイベント活動があり、人との関わり、楽しみが出来るよう工夫されていまし

た。こどもへの支援プログラムとしても、ボランティアの協力を得た活動時間が設けられているなど、家族全体の回復を支える支援が実践されていました。シェルターでの取り組みを教えていただくだけでなく、私の勤務先である野菊荘にも関心を寄せてくださり、日本とデンマークの支援の違いやあり方について、意見交換出来、学びを深める充実した時間となりました。



文化の研修！



←ホストファミリーさん

おいしいごはんとデンマークの素敵なおところへ連れて行っていただき、本当にお世話になりました。



↑休日にルイジアナ美術館に行きました。
芸術品と建築や庭園の自然が一体となった、
素敵な美術館で過ごす貴重な体験になりました。

毎日が新鮮で、社会福祉の学びだけでなく、生活・文化・価値観などたくさんの日本にいただけでは知ることのできなかった経験を得ることができました。この学びをこれから活かせるように考え、頑張っていきます。何より、どの国でも色々な方々に助けていただき、たくさんのご縁をいただいたことを大切に、今度は私が返していけるように頑張っていきたいと思います。

60日間という、長期にわたる貴重な研修の機会をいただき、本当にありがとうございました。